

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	18-	9
事業名	文化財保護経費	
会計	款	項
一般	10	5
目		5
施策	3 心豊かなまち	課名 社会教育課
	3-2 文化のかおるまちをつくる	係名 生涯学習係
	3-2-1 多様な文化・芸術活動の支援	
主要施策	③文化財の保存・活用	

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内の文化財	目的 (対象がどのような状態になっているか)	重要な文化財の保存と活用を図り、今後の世代へ継承する。
事業内容	町内の文化財の調査・指定及び保護を行うとともに、町内の文化財保護団体に対して補助金の交付を行うことによって存続と継承を支援する。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)
	1	指定文化財の点数		8	8	点	↑
2							
3							
4							
5							
		平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)	
全体事業費(千円) A+B				1,315	2,912	3,104	
財源内訳	直接事業費 A			1,315	1,592	1,784	
	うち一般財源			1,315	1,592	1,784	
人件費(千円) B				0	1,320	1,320	
内訳	一般職員(人・千円)			0	0.2	1,320	0.2
	臨時職員(人・千円)			0		0	0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業を拡充して継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	町指定天然記念物のうち、観音もみじは保護作業を続けているが枝枯れが進んでいる。
②H30年度に実施した取り組み	町指定天然記念物トウインヤエヤマザクラ(第1号)後継木の成長を促し、県・町指定無形民俗文化財の保持団体(2団体)へ補助金交付を行った。	④今後の改善計画	トウインヤエヤマザクラ、観音もみじの次世代の育成に取り組む。補助金については、提言を踏まえさらに精査を行ったうえ決定する。